

三重県経済の現状と見通し＜2025年11月＞

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1		基調判断(前月比較)※2
				詳細
総括判断	景気の現状			一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる 住宅投資や輸出に弱さがみられるものの、観光や企業活動は持ち直しているなど、持ち直しの動きがみられる。
家計部門	個人消費			持ち直している 勤労者世帯・消費支出は、3か月ぶりの前年比増加
	住宅投資			減少傾向にある 住宅着工戸数は、6か月連続の前年比減少
	観光			回復傾向にある 外国人宿泊者数は、8か月連続の前年比増加
	雇用・所得			持ち直し傾向が一服 有効求人倍率(季節調整値)は、2か月ぶりの上昇
企業部門	企業活動			足踏み 鉱工業生産指数は、3か月ぶりの前年比上昇
	企業倒産			悪化しつつある 倒産件数は、2か月ぶりの前年比減少
	設備投資			持ち直しの兆し 民間非居住建築物着工面積は、3か月ぶりの前年比増加
海外部門	輸出			減少している 四日市港通関輸出額は、15か月連続の前年比減少
公共部門	公共投資			持ち直しつつある 公共工事請負金額は、4か月連続の前年比増加
その他	物価			上昇している 津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、45か月連続の前年比上昇

当面の見通し	物価高や世界経済の不透明感から、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し
	個人消費の回復が期待される一方、日中対立の緊迫化やトランプ政権の関税政策など世界経済を巡る不透明感は強く、景気持ち直しのテンポは弱まる見通し。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、
:晴、:晴～曇、:曇、:曇～雨、:雨、を示す。
※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、
:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。
(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)
したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。
個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

2. 個別部門の動向：家計部門

個人消費	水準評価		 		
	基調判断	前月比較	➡	詳細	持ち直している

《现状》

○個人消費は、持ち直している。

○個人消費の動向を支出者側からみると、9月の勤労者世帯消費支出(津市)は前年比+20.5%と3か月ぶりの増加(図表1)。勤労者世帯可処分所得(津市)は同▲0.9%と7か月連続の減少。

○個人消費の動向を販売者側からみると、9月の大型小売店販売額(百貨店とスーパーの合計額)は、全店ベースは前年比+2.1%、既存店ベースも同+0.7%とともに7か月連続の増加(図表2)。全店ベースを商品別にみると、飲食料品(同+3.5%)が11か月連続で増加し、全体を押し上げ。

○10月の新車乗用車販売台数(含む軽)は、6,750台(前年比+2.7%)となり、前年比で2か月連続の増加(図表3)。車種別にみると、普通車(同▲4.4%)は2か月ぶりに減少した一方、小型車(同+0.2%)は3か月ぶりの増加、軽乗用車(同+12.8%)は3か月連続で増加した。

《見通し》

○東海地域の現状判断DI(内閣府「景気ウォッチャー調査」)をみると、10月の家計部門の水準は47.9と10か月連続で好不況の分かれ目となる50を下回った。2～3か月先の先行きに対する判断DIについては、52.9と前月(47.0)から上昇し、好不況の分かれ目の50を18か月ぶりに上回った。引き続き、所得環境の改善や株高を受けた資産効果による個人消費の回復に期待が持てる一方、長引く物価上昇が懸念材料に。

◆9月 勤勞者世帯・消費支出

○ 307千円 前年比 +20.5% (3か月ぶりの増加)

◆9月 大型小売店販売額

○ 全店 前年比 +2.1% (7か月連続の増加)

○ 既存店 前年比 +0.7% (7か月連続の増加)

◆10月 新車乗用車販売台数＜含む軽＞

○ 6,750台 前年比 +2.7% (2か月連続の増加)

・普通車	2,776台
------	--------

前年比 ▲4.4% (2か月ぶりの減少)

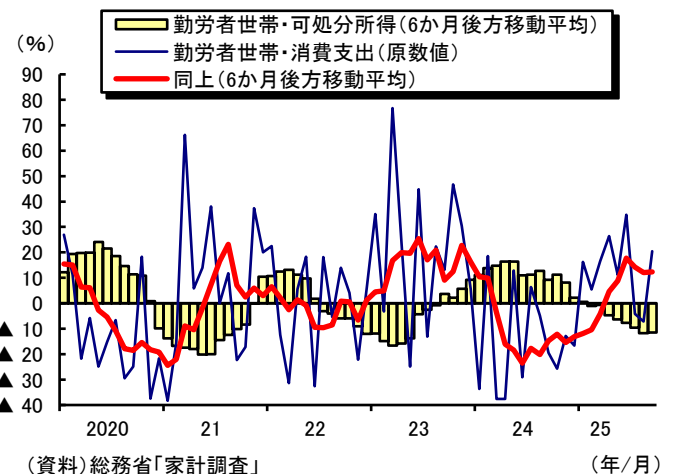
・小型車 1,333台

前年比 +0.2% (3か月ぶりの増加)

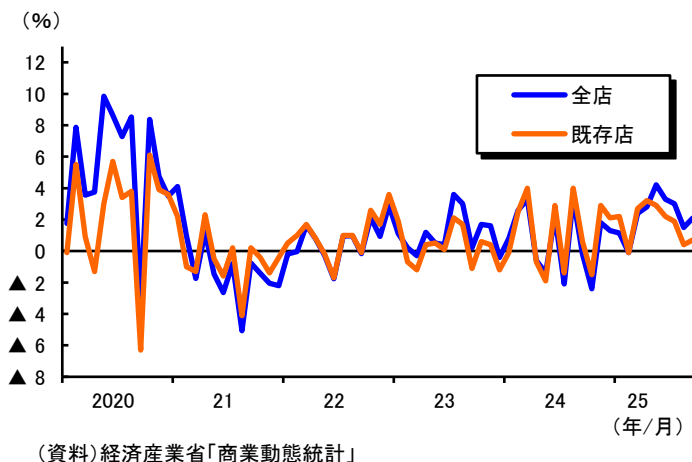
・軽乗用車 2,641台

前年比 +12.8% (3か月連続の増加)

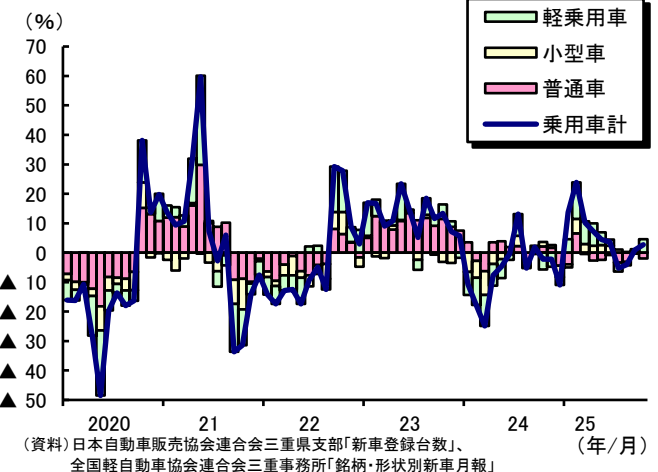
図表1 津市消費支出等<前年比>



図表2 **大型小売店販売額＜前年比＞**



図表3 新車乗用車販売台数＜前年比＞



(資料)国土交通省「建築着工統計」

(年/月)

延べ宿泊者数(左目盛)

前年比(右目盛)

同上(6か月後方移動平均、右目盛)

(千人泊)

(%)

▲ 50

▲ 100

2020 21 22 23 24 25

(資料)国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」

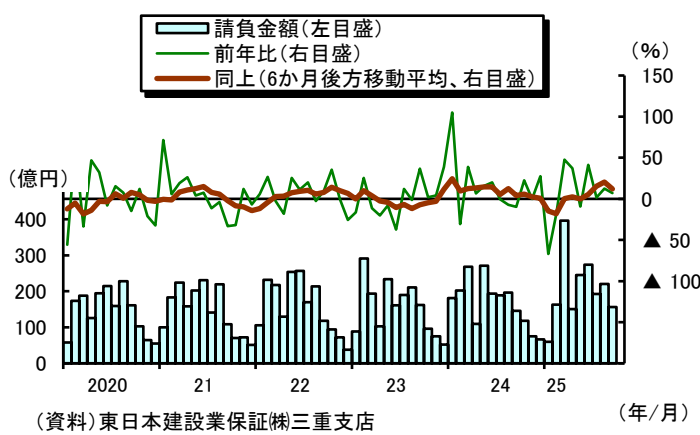
(年/月)

○所得については、物価高を踏まえたベアの広がりや最低賃金の上昇、人手不足感の深刻化を受けて今後も幅広い業種で賃金上昇が期待される。

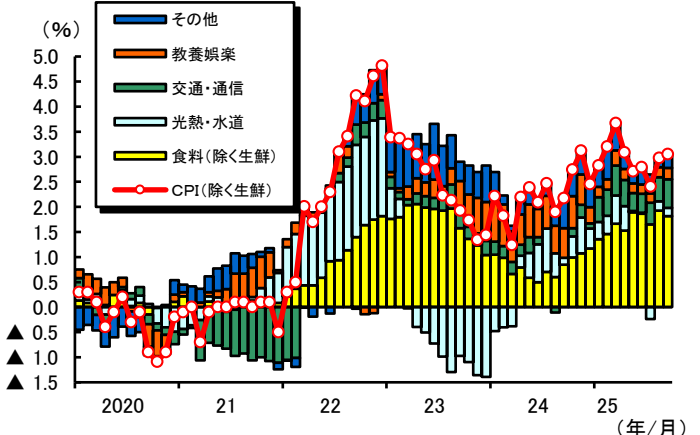
設備投資関連指標＜前年比＞

四日市港通関輸出額＜前年比＞

5. 個別部門の動向：公共部門

公共投資	水準評価				
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	持ち直しつつある
《現状》 ○公共投資は、持ち直しつつある。 ○10月の公共工事請負状況をみると、請負件数は375件(前年比+4.5%)と2か月ぶりの増加。請負金額は156億円(同+7.1%)と4か月連続の増加(図表13)。請負金額を発注者別にみると、独立行政法人等(同▲57.1%)、国(▲7.1%)が減少したものの、県(+7.6%)、市町(+5.2%)がそれぞれ増加。 《見通し》 ○11月19日に三重県は一般会計に8.7億円を追加する12月補正予算案を発表。出没が相次ぐクマの対応に4.3百万円、妊産婦を支援する市町への補助費として1.8百万円などを計上する。					
◆10月 公共投資 ○公共工事請負件数 375件 前年比 +4.5% (2か月ぶりの増加) ○公共工事請負金額 156億円 前年比 +7.1% (4か月連続の増加)			図表13 公共工事請負金額  (資料) 東日本建設業保証㈱三重支店		

6. 個別部門の動向：その他

物価	水準評価				
	基調判断	前月比較	⇒	詳細	上昇している
《現状》 ○物価は、上昇している。 ○10月の津市消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年比+3.1%と45か月連続の上昇(図表14)。生鮮食品を除く食料(同+7.6%)や交通・通信(同+3.3%)など、多くの項目で上昇。 《見通し》 ○エネルギー価格上昇の影響や企業の価格転嫁が想定を上回る水準で進んでおり、今後も消費者物価は上昇が続く見通し。なお、自民党の小野寺税制調査会長が、ガソリン税に上乘せされている 旧暫定税率と同額分の値下げ完了が12月中旬になると明らかにしており、ガソリン価格は低下する見通し。					
◆10月 消費者物価指数<生鮮食品を除く、2020年=100> ○111.4 前年比 +3.1% (45か月連続の上昇) ・食料(生鮮食品を除く) 前年比 +7.6% (51か月連続の上昇) ・住居 前年比 ▲0.3% (13か月ぶりの下落) ・光熱・水道 前年比 +2.5% (2か月連続の上昇) ・交通・通信 前年比 +3.3% (12か月連続の上昇) ・教養娯楽 前年比 +2.1% (34か月連続の上昇)			図表14 津市消費者物価指数<前年比>  (資料) 総務省「消費者物価指数」		

県内経済



トピックス

(2025年10月)

1. 三重県、全国初の罰則付きカスハラ防止条例制定へ

- 10月7日、三重県の一見知事はカスタマーハラスメント防止条例に罰則規定を設ける方針を明らかにした。県は罰金などを定める意向で検察当局と調整しており、2026年度前半までの成立を目指す。罰則付きで制定されれば全国初となる。
- 一言知事は会見で、県の案では罰金を50万円以下とし、検察側と協議していると説明。「精神的ストレスで従業員が休職することもある。社会としてカスハラを看過してはいけない」と述べ、効果的な対策には罰則が必要との見解を示した。

2. 医学×工学で「デジタルヘルス専攻」 三重大院・医学系研究科に新専攻設置へ

- 10月29日、三重大学は定例会の見会で大学院の医学研究科へ新たに「デジタルヘルス専攻」を新設する方針を明らかにした。医療現場や日常的な健康管理などで、デジタル技術の導入や活用の研究を担う。文部科学省と調整を進めており、2027年4月の設置を目指す。
- 三重大によると、医療現場のニーズを把握した上で既存のデジタルデバイスの活用を考える全国的にも珍しい専攻になるという。
- 三重大附属病院の佐久間院長は「現場の病院の中の課題解決を図る人材がすごく足りないので、医療デジタルトランスフォーメーション(DX)がなかなか進まない。工学系の人に医療現場のニーズを直接見てもらうのが大事ではないか」と話した。

3. 名古屋と賢島を結ぶ新たな観光列車が2026年秋に運行スタート

- 10月31日、近畿日本鉄道は近鉄名古屋駅と賢島駅(三重県志摩市)間を結ぶ新たな観光列車「レ・サヴァール・志摩」を2026年秋から運行すると発表した。2016年のG7伊勢志摩サミットで腕を振るった志摩観光ホテルの樋口宏江総料理長が監修した本格的なフレンチを楽しめる。
- 4両編成の50席で全席指定。「サヴァール」はフランス語で味や風味を意味する。運行は週6日間。
- 伊勢エビや伊勢まだいを使ったブイヤベース、熊野地鶏のコンフィなど地元の食材を使う。四日市市で会見した樋口料理長は「旅の時間の中で地域の食を味わうことをテーマに五感で楽しめるメニューを考案した」と話した。

(出典)中日新聞

以上

景 気 指 標

三十三総研
2025/11/28

<三重県>

(注)()内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2023 年	2024 年	2024年	2025年			2025年				
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	6月	7月	8月	9月	10月
大型小売店販売額(全店)	(1.1)	(0.7)	(0.3)	(1.2)	(3.4)	(2.2)	(3.3)	(3.0)	(1.5)	(2.1)	
同 (既存店)	(0.3)	(1.1)	(1.2)	(1.7)	(2.8)	(1.0)	(2.2)	(1.9)	(0.4)	(0.7)	
新車販売台数(軽を除く、台)	54,820 (13.8)	54,634 (▲ 0.3)	13,070 (▲ 2.9)	15,297 (12.3)	11,842 (▲ 0.4)	12,917 (▲ 3.4)	4,501 (0.9)	4,616 (▲ 4.9)	3,434 (▲ 6.9)	4,867 (0.7)	4,632 (▲ 1.7)
うち乗用車販売台数(台)	48,492 (15.3)	48,294 (▲ 0.4)	11,755 (▲ 0.9)	13,713 (11.7)	10,655 (0.7)	11,421 (▲ 3.1)	4,049 (2.4)	4,101 (▲ 3.7)	2,992 (▲ 7.1)	4,328 (0.4)	4,109 (▲ 2.9)
新車軽自動車販売台数(台)	39,708 (4.7)	34,947 (▲ 12.0)	8,912 (▲ 12.1)	10,520 (20.3)	8,402 (9.9)	9,482 (▲ 1.7)	2,992 (3.5)	3,167 (▲ 2.6)	2,582 (▲ 3.5)	3,733 (0.3)	3,428 (9.2)
うち乗用車販売台数(台)	31,028 (7.8)	27,595 (▲ 11.1)	6,919 (▲ 11.2)	8,770 (22.2)	6,605 (12.9)	7,506 (▲ 1.9)	2,333 (5.9)	2,413 (▲ 7.9)	2,076 (0.7)	3,017 (1.7)	2,641 (12.8)
新設住宅着工戸数(戸)	9,224 (▲ 6.9)	7,751 (▲ 16.0)	1,803 (▲ 13.8)	2,182 (15.3)	1,594 (▲ 18.6)	1,727 (▲ 17.6)	470 (▲ 30.4)	659 (▲ 10.0)	534 (▲ 23.8)	534 (▲ 19.5)	
県内施設延べ宿泊者数(千人泊)	7,176 (3.3)	8,692 (21.1)	2,272 (15.3)	2,128 (6.0)	2,184 (6.0)		604 (▲ 0.3)	818 (9.0)	1,028 (12.6)		
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.17	1.13	1.16	1.16	1.16	1.13	1.16	1.14	1.18	
新規求人倍率(季調済)	2.08	1.94	1.91	2.04	1.97	2.03	1.80	2.12	2.03	1.94	
新規求人数(学卒・パート除く、人)	78,847 (▲ 8.3)	74,467 (▲ 5.6)	18,390 (▲ 3.8)	19,394 (▲ 0.9)	18,133 (▲ 0.2)	19,011 (3.7)	5,802 (▲ 0.1)	6,834 (3.2)	5,697 (0.2)	6,480 (7.6)	
名目賃金指数(調査産業計)	(0.6)	(4.5)	(6.5)	(3.5)	(1.0)		(0.8)	(5.8)	(2.5)		
実質賃金指数(同)	(▲ 2.7)	(1.3)	(2.4)	(▲ 0.7)	(▲ 2.2)		(▲ 2.1)	(2.5)	(▲ 0.6)		
所定外労働時間(同)	(▲ 11.7)	(2.2)	(10.1)	(5.8)	(6.0)		(5.8)	(1.8)	(4.3)		
常用雇用指数(同)	(3.2)	(1.9)	(1.2)	(0.7)	(▲ 0.2)		(▲ 0.5)	(0.0)	(0.4)		
鉱工業生産指数	(▲ 5.1) －	(0.4) －	(▲ 0.2) <▲ 3.4>	(7.3) <▲ 1.7>	(1.9) < 8.1>	(▲ 1.6) <▲ 4.8>	(5.3) <▲ 11.9>	(▲ 5.4) <▲ 3.5>	(▲ 6.0) <▲ 2.6>	(6.3) < 12.9>	
生産者製品在庫指数	(1.5) －	(▲ 8.9) －	(▲ 3.5) <▲ 1.8>	(▲ 0.7) <▲ 3.1>	(12.2) < 13.2>	(7.0) <▲ 0.7>	(11.7) <▲ 3.2>	(12.1) <▲ 1.9>	(5.4) <▲ 1.9>	(3.9) < 3.5>	
企業倒産件数(件)	130	135	36	33	19	43	9	24	7	12	8
(前年同期(月)比)(件)	(65)	(5)	(▲ 2)	(3)	(▲ 12)	(5)	(0)	(12)	(▲ 11)	(4)	(▲ 3)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	553 (▲ 29.7)	574 (3.8)	135 (16.2)	93 (▲ 35.3)	228 (104.5)	305 (66.1)	72 (140.3)	32 (▲ 49.4)	39 (▲ 34.4)	234 (284.6)	
県内外国貿易 純輸出(百万円)	▲ 1,324,497	▲ 1,294,042	▲ 314,264	▲ 354,616	▲ 222,064	▲ 227,149	▲ 41,761	▲ 41,503	▲ 93,248	▲ 92,398	▲ 89,258
輸出(百万円)	1,124,612 (1.9)	1,133,799 (0.8)	305,788 (▲ 10.7)	269,475 (▲ 2.3)	270,934 (▲ 7.8)	269,425 (▲ 1.2)	99,361 (5.3)	101,486 (8.4)	73,427 (▲ 18.8)	94,512 (6.5)	103,761 (0.8)
四日市港 輸出(百万円)	1,075,841 (2.1)	1,091,240 (1.4)	300,503 (▲ 9.9)	244,731 (▲ 11.2)	247,223 (▲ 11.1)	245,955 (▲ 8.0)	87,554 (▲ 1.5)	89,955 (▲ 3.9)	73,418 (▲ 14.0)	82,582 (▲ 6.6)	92,593 (▲ 5.3)
輸入(百万円)	2,449,109 (▲ 7.6)	2,427,841 (▲ 0.9)	620,052 (▲ 10.7)	624,091 (4.0)	492,998 (▲ 23.9)	496,574 (▲ 23.9)	141,122 (▲ 29.4)	142,989 (▲ 34.5)	166,676 (▲ 27.4)	186,910 (▲ 8.6)	193,019 (▲ 0.8)
公共工事請負金額(億円)	1,844 (▲ 3.7)	2,004 (8.7)	340 (1.7)	290 (▲ 33.5)	792 (22.0)	687 (18.6)	245 (▲ 9.5)	274 (41.5)	192 (1.7)	220 (12.3)	156 (7.1)
津市消費者物価指数	(2.9)	(2.4)	(3.1)	(3.6)	(3.1)	(2.7)	(2.6)	(2.8)	(2.5)	(2.9)	(3.1)
同 (除く生鮮)	(2.7)	(2.2)	(2.7)	(3.0)	(3.2)	(2.7)	(2.7)	(2.8)	(2.4)	(3.0)	(3.1)

<東海3県(三重・愛知・岐阜)>

	2023 年	2024 年	2024年	2025年			2025年				
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	6月	7月	8月	9月	10月
大型小売店販売額(全店)	(1.6)	(2.7)	(0.7)	(1.9)	(1.6)	(2.3)	(▲ 0.1)	(1.0)	(2.6)	(3.4)	
同 (既存店)	(0.9)	(3.2)	(1.8)	(2.8)	(1.7)	(1.9)	(▲ 0.1)	(1.4)	(1.9)	(2.5)	
新設住宅着工戸数(戸)	73,459 (▲ 8.3)	72,757 (▲ 1.0)	17,880 (▲ 1.8)	18,545 (▲ 1.5)	13,669 (▲ 21.8)	17,478 (▲ 5.9)	5,333 (2.6)	6,167 (3.1)	5,790 (2.9)	5,521 (2.8)	
有効求人倍率(季調済)	1.39	1.31	1.29	1.31	1.31	1.28	1.28	1.29	1.27	1.27	
新規求人倍率(季調済)	2.39	2.35	2.34	2.41	2.35	2.30	2.30	2.35	2.33	2.24	
鉱工業生産指数	(3.5) －	(▲ 2.8) －	(▲ 1.1) < 2.0>	(7.0) < 3.7>	(1.1) <▲ 4.1>	(▲ 0.4) <▲ 2.0>	(4.5) <▲ 4.0>	(▲ 1.0) <▲ 1.2>	(▲ 1.9) < 0.1>	(4.0) < 0.8>	
企業倒産件数(件)	799	868	223	220	209	263	75	102	77	84	66
(前年同期(月)比)(件)	(265)	(69)	(7)	(24)	(0)	(23)	(13)	(8)	(4)	(11)	(▲ 8)
域内外国貿易 純輸出(億円)	88,899	99,401	28,206	23,384	24,488	24,248	9,073	9,174	6,649	8,425	10,171
輸出(億円)	212,571 (11.5)	225,311 (6.0)	60,353 (0.7)	56,625 (6.9)	55,354 (▲ 0.6)	55,837 (▲ 0.8)	18,941 (▲ 1.9)	19,747 (▲ 5.3)	16,496 (▲ 5.9)	19,594 (9.3)	20,819 (4.9)
輸入(億円)	123,672 (0.1)	125,911 (1.8)	32,147 (▲ 2.2)	33,242 (12.7)	30,865 (▲ 2.1)	31,589 (▲ 3.6)	9,867 (0.7)	10,573 (▲ 7.8)	9,847 (▲ 6.7)	11,170 (4.0)	10,647 (▲ 2.7)

：各指標における直近の数値